

### 3. 駅の係りと仕事 両駅とも無人化

駅長	業務上すべての責任者、主に職員及び仕事の管理運営を行い、業務成績、能率の向上と地域の発展に寄与する。
運転主任	助役と異なるが一応助役とみなされ駅長の命ずる仕事の遂行及び駅長の補佐と代理を行う。
業務委託員	合理化制度によるもので、国鉄と業務請負契約を結んでいる会社の社員（主にOB）。仕事の内容は一般に窓口業務（出札改札）及び清掃を担当する。

### 4. 木戸駅・竜田駅の沿革

明治 28・11・4	日本鉄道株式会社は土浦線開通（友部～土浦）
〃 29・12・25	〃 土浦線 〃（田端～土浦）
〃 31・8・23	〃 磐梯線 〃（水戸～岩沼） 木戸駅営業開始（当時は木戸停車場）
〃 34・11・20	磐城線・土浦線・隅田川線の各線は総括して海岸線と改称する
〃 39・11・1	日本鉄道株式会社は国有鉄道となる
〃 40・4・1	帝国鉄道庁水戸営業所開設
〃 42・3・25	竜田駅営業開始（当時は竜田停車場）
大正 9・5・15	鉄道院を廃止、鉄道省が設置される
昭和 11・12・11	上野～松戸間電化
〃 24・	運輸省から公共事業体としての日本国有鉄道となる
〃 25・8・1	仙台管理局から水戸管理局の支配になる
〃 36・6・1	上野～勝田間電化
〃 38・6・1	草野までの電化
〃 42・10・1	草野～岩沼間電化
〃 43・3・20	蒸気機関車サヨナラ運転
〃 50・11・21	CTC化 水戸で集中列車制御
〃 50・11・25	跨線橋竣工
〃 55・12・1	井出浜街道踏切廃止 高架橋になる
〃 56・3・31	上下ホーム改良完成